

令和5年度 自己評価・外部評価 運営推進会議活用ツール

自己評価日 令和6年1月16日(火)

運営推進会議検討日 令和6年2月29日(木)

グループホーム CoCo すみかわ

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所やホールに掲示しており、理念を踏まえた実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染予防のため、日常的な交流の機会が減少している。	まだまだ新型コロナウイルス感染への配慮が必要な時期であり仕方がない部分もある。感染への影響も考慮しながら徐々に増やしていけば良いのではないかな。		
	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度から、書面会議から参集しての会議に変更できた。意見等がある場合は、スタッフ会議で話し合うように努めた。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議やその他の機会で連絡を取り、意見を聞きながらサービス提供を行っている。	運営推進会議等を活用し、これからも連携を継続していく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人には抑制廃止検討委員会、虐待防止委員会を設置し、ホームだけでなく、幅広い意見を聞きサービスに活かしている。身体拘束事例はない		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	良く出来ていると感じている。自己評価で逆に「B」と評価しているのは疑問。A 評価で良い。
	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記委員会での研修の他、職員会議等で定期的に検討することにより、ケアの方法や声がけの工夫、言葉遣いに注意を払っている。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	後見人制度を利用されている入居者もあり、面会や電話連絡時に関係性を高めることができるよう努めている。制度理解の研修も行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にはホームの特性や利用に関して詳しく説明を行うとともに、ご家族や入居者の疑問にも分かりやすい説明に努め、ご理解の上契約を結んでいる。改定時も同様。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話連絡時個別に伺っているが、コロナ渦もありご家族を集めての意見交換はなくなっている。運営推進会議で機会がある他、ご意見箱も設置し運営に反映している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「面会の時に個別に対応されており感謝しています。」(家族)
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議で意見や話し合いの機会があり、サービス提供に活かすようにしている。理事長直行便の投書箱も設置され機会が設けられている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業環境や条件等、個々の希望を出来るだけ汲み取るようにしている。向上心を持ちながら、より良いサービス提供が出来るよう処遇改善に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この項目については際限がなく判断が難しい部分ではあるが、世の中の動きを見ながら可能な範囲で対応されている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各委員会やホームでは定期的に研修を行っている。少しずつ外部研修や参集での研修も増え、個々の力量に合わせ内容や対象者を検討している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最低限必要な研修の他、必要に応じた研修も追加実施されている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会の研修会を通してある程度交流の機会があるが、全ての職員同士の交流やネットワーク作りには至っていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常日頃から入居者の話を傾聴し同じ目線でケアするように努めている。家事や手芸、工作活動と一緒に行うことで関係性を築いている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の対応になってしまいが、家族との外出や外泊ができるようになった。しかし、ホームとして外出や外食等、支援していく機会を作れない部分もあった。	コロナ禍でもガラス越しでの面会を行っており、面会できる機会を作るようにしていた。感染への対応を苦慮しながら取り組んでいる。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で希望を伺い対応をするようにしているが、入居者同士の誤解や妄想もあり方法を工夫しながら支援している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時にご家族の意向を確認するように努め、サービス担当者会議で本人の意向や関係者の意見も含めた内容について検討しサービス計画を作成している。	職員が十分に気にかけてながら密に入居者と接している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートやスタッフ会議で日々の変化や対応を考えていくようにしている。シートにもっと発言や言動を記入していけばより良い。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	良く取り組んでいる。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係者と協議・連携しながら、その時々ニーズに対応した柔軟な支援ができるよう取り組んでいるが、事業所自体の多機能化は進んでいない。	多機能化について、家族が入居させたいが本人の了承が得られず入居に結びつかない事例もある。体験入所的にショートで使うといった可能性もあるのではないかな。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策もあり地域との交流や資源活用機会は少なくなっている。	地域のボランティアを活用するなどの方法も地域資源との協働になる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は主治医を兼務しており、看護師の訪問があるなど併設医療機関と連携した医療提供ができている。病状や希望により他の医療機関の受診も支援している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が安心できるよう可能な限り面会したり、看護師や相談センターとの情報交換等を密に行い、早期の退院に向けた受入れ準備等を進めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苫小牧澄川病院が併設しており、病院の中には相談センターが設置され情報は共有できている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の他、様態の変化・家族の希望を踏まえ、医療機関と交え相談・支援する体制がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設医療機関との関係ができておりA評価でよい
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平日の他、夜間・休日も併設医療機関に相談できる体制がある。救命訓練を定期的に行っており、今後も繰り返し実施していく。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間想定訓練には地域の方、町内会の方にも周知し参加していただいている。これで十分、ということがないが工夫しながら取り組んでいる。	これで完璧ということはない。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会とも連携して取り組むことができしており、B 評価で良い。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりのペースに合わせて尊厳を意識した丁寧な対応ができるよう気を付けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ個々のケアレベルに違いがあることもあり、B 評価とする。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のペースに合わせ希望に添う事ができるよう努めているが、忙しい時間帯、入居者の訴えが重なったり、理解していただけなかったり等で難しい場面もあった			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メニューは嗜好に合わせて作るように心がけている。準備や片付けなど出来る事の声がけをさらに増やしていきたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の内容から B 評価で良いのではないかと。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートに記入し全職員で把握できている。水分が進まない方には、コップを持ちやすい物に変更する等、工夫している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアへの声がけ、支援を行っている。月 2 回、歯科衛生士が口腔内の衛生状態についてチェックしてスタッフにアドバイスがある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	やるべき最大限のことは出来ている。
	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシート、引継ぎ事項で把握できるように努めている。便秘は、下剤の調整等、主治医に相談しながら個々に対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンに応じた対応ができています。
	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のペースで入浴できるよう努めている。拒否があった場合は、無理強いせず、時間をずらしたり、日付を変更したりしながら対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の体調や様子に合わせてながら運動や活動を提供し、休息をとりながら過ごしていただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋の内容についてはファイリングにて確認できる。服薬内容に変更があった場合は、申し送りノート等で周知し、症状の変化も記録している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理解に個人差はあっても、薬の落としや他のヒヤリハット事例もなく、管理・見守りは充分出来ていると言って良い。
	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誕生日や祝い事、季節行事に合わせて制作物を作ったりしている。可能な限り、季節の行事、体操、近所への散歩など楽しんでいただいている	評価は妥当		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスが 5 類に変更になり、家族との外出や外泊ができるようになった。さらに本人の希望に添った、ホームでの外出や外食等の行事を増やしていきたい。	感染予防のため、人とあまり接しないような内容にとどめるように取り決めをしての対応になっている。感染状況を見ながらの対応の中でも、出来ることの支援はしている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は買い物等行事でお金を使う機会を作っていた。現在はお金の所持を希望される方が少ない。生活には支障がなく、使う機会がないこともあり支援が少なくなっている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の希望に添い対応している。			
		建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
39	居心地のよい共用空間づくり			季節の制作物を作ったり、壁面に飾り付けを行い、出来るだけホール内に変化が出るように工夫している。食事席もその時々に合わせて柔軟に対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	工夫されており A で良いのではないかな
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	帰宅願望があったり、感情のコントロールが難しい方もいらっしゃる。意向を伝えられない方への気配りが十分とは言えないのでさらに努力していく			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、面会時に様々な情報を把握できるように努めている。ご本人のリズムで生活されている方が多い。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックや口頭で確認するように努めている。また、変化等についてはアセスメントシートに記入し職員間で共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院に併設していることもあり、家庭や他施設よりじゅうぶんできている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身のペースで穏やかに生活されている方が多い。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの方が自宅で使用されていた家具やテレビ、家族写真等を居室に飾っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	外出について自身の意向を伝えることが出来る方は少なくなっており、職員からのアプローチが主体。外出機会が少ないのでさらに増やしていく。	感染予防の規制がある中では行うことができている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に合わせて対応方法を変えている。掃除、おやつ作り、生け花等様々なことを行い、笑顔を多く引き出す努力をしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や入居者同士の会話、家事や運動時など、笑顔等の表情の表出がある。		A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時の様子から職員も寄り添えているのではないかな。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方と交流する機会が少なくなっているが、散歩の時に地域の方が連れている動物を可愛がる等交流がみられる。	コロナ禍の規制がある中では支援できている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ニーズに合わせた細やかなサービスの提供により、穏やかで安心した生活を送ることができている。さらに地域との関わりや外出の機会を多く持ち、活気や楽しみを増やしていく。	やれることはまだ残っていると 考え B 評価が妥当	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まだまだ感染症の予防が必要であるが、少しずつ条件を緩和したりしながら出来ることを拡大していった欲しい。